

# — 市政を問う — 一般質問

## ローカルマニフェストの検証 教育に関する課題

無所属 八木啓仁 議員

ローカルマニフェスト

**質問** 「南部に救急医療を中心とした医療機関をまちづくり計画の前期に工事着手する」とある。徳洲会病院の進出の現状と、市長としてどうしていく考えか。

**答弁** 進出計画のある民間法人には具体的計画書の提出を依頼しているが、交渉過程の公表は控えたい。交渉は困難な状況にあるが、早急に結論を出すよう努力したい。

**質問** 市民との協働を進めるための「(仮称)市民活動推進条例の制定」について、状況と方向性は。

**答弁** 19年3月に「協働によるまちづくりに向けての指針」を策定した。19年度は市民等で構成する条例の検討組織を設け、指針をベースに検討を進め、20年度中に条例化できるように準備を進めていく。

教育

**質問** 教育長は今の学校教育の現状についてどう認識し、どう対応していくのか。基本的なスタンスは。

**答弁** 社会の宝である子供を守り育てることが重要と考える。現在学校に通っている子供



外国人児童

## 多文化共生事業 保育園保育料の滞納

無所属 佐々木信仁 議員

多文化共生

**質問** 外国人市民の声を聞くためのタウンミーティング実施の考えは。

**答弁** 過去に一度実施し、情報交換のパイプ役の必要性を痛感した。その後、人的パイプの構築など、体制も整備してきたので、19年度に再度開

たちとその保護者の率直な意見に十分耳を傾け、組織の論理に基づくのではなく子供や保護者の目線に立ち、教育に関する問題に取り組みたい。

**質問** 外国人児童生徒の受入手続時の親子面接に、教育委員会だけでなく、現場の教師を入れながら進路の方向性を出す制度などを確立する必要があると感じるがどうか。

**答弁** 現場の負担を大きくすることにりかねない。学校現場の意向をできる限り聞いて対応する中で、外国人児童生徒の支援を充実し、安心して就学できるようなシステムに改善していきたい。

催する予定である。

**質問** 長期滞在型外国人の保育や教育には、妊娠時期からの支援が必要と思うが。

**答弁** 妊娠・乳幼児期から保護者へ教育の必要性を訴えていくよう取り組んでいく。

**質問** 多文化交流センターの運営を国際交流協会から、共

生のなかま、<sup>木</sup>樹の会」に移したと聞くが、予算や開館時間等の弾力運用についての考えは。

**答弁** 事業に関する経費は必要に応じて、めり張りをつけて対応していく。開館時間を延長する考えは、現在持っていない。

**質問** 17年度の磐田市保育園保育料の滞納額は、約367万円との報道があったが、過去5年間の滞納額の推移は。

**答弁** 旧5市町村の総額で、14年度以前分は約302万円、15年度は約21万円、16年

度は約156万円、18年度は約188万円となっている。



多文化交流センター

**質問** 旧磐田市では15年度だけ滞納額がゼロであったが、理由はあるか。

**答弁** 特別なことは行っていないが、常に滞納分について電話連絡や訪問を行い、納めていただくよう努力している。

**質問** 公立と私立の保育園と滞納状況に有意差はあるか。

**答弁** 滞納額に占める公立分の割合は、17年度は60%、18年度は53%となっている。公立保育園の方に滞納額が多い要因はさまざまある。

## 公有地取得及び処理の課題と 今後の取り組み

無所属 野崎正藏 議員

**質問** 土地取得事業特別会計条例を廃止し、土地取得に係る手法、業務、管理など、スリム化を図るべきと考えるが。

**答弁** 本会計は、地価高騰に伴う公共用地の取得が困難な時期に、土地取得円滑化のために活用されてきたが、近年の地価下落傾向により、先行取得の財政的メリットもなく

なり、存在意義が薄れている。本会計の廃止も含め、今後のあり方を検討したい。

**質問** 土地開発基金条例を廃止し、約3億6、300万円ある基金を土地取得などに柔軟に対応させるべきでは。

**答弁** 基金の廃止は、基金活用により取得した土地取得事業特別会計の保有地を一般会

計で買い戻す必要がなくなる  
ことや、その資金を財源とし  
て、土地開発公社の保有地や  
市の施設等の借地の買い戻し  
などの活用にも有効と考える。  
表裏一体の関係にある土地取  
得事業特別会計の廃止とあわ  
せ検討していきたい。

**質問** 土地開発公社の保有地  
は短期での処理が必要と考  
える。土地の取得及び活用はど  
うに進めるのか。

**答弁** 市が買い戻す  
べきと考えるが、短期間です  
べての買い戻しは困難である。  
土地開発基金等の財

源の有効活用を含め、早急に  
検討していく。  
**質問** 市全体の公有地の取得  
及び処分について、今後の考  
え方と取り組みは。  
**答弁** 公共用地の取得は、一  
般会計など所管の会計に予算  
化しての取得が原則と考え  
る。市有地の処分については、  
市が保有する普通財産は原則  
的にすべて処分の対象と考  
えている。計画的に売却を進  
め、売却代金を必要な土地  
取得の財源として活用でき  
る仕組みを整えていきたい。



市有地

## 安心・安全のまちづくり 市民の活力支援・利便性の向上

### 安心・安全

**質問** 自殺者が9年連続で3  
万人を超す異常事態が続いて  
いる。市民のメンタル相談の  
現状と対策は。

**答弁** 18年度の精神保健に関  
する相談等は実人員で447  
人だった。保健師を中心に、  
個別訪問指導など、具体的支  
援につながるよう努めている。

無所属 玉田文江議員

**質問** 自殺は命の尊厳の認識  
が薄いことから始まると思  
う。豊かな感性をはぐむた  
め、市全体として文化芸術の  
機会をどう拡大していくか。

**答弁** 厳しい財政状況の中  
であるが、機会をとらえ、充  
実する方向で努力していきたい。

**質問** 電磁波による健康への  
影響を心配する声があふいて

る。相談状況と対応は。また  
対応窓口はどこか。

**答弁** 電磁波による人体への  
影響を懸念する相談を4件受  
けた。相談窓口を環境保全課  
に統一し、情報提供や国等の  
専門部署の紹介などにより、  
市民が少しでも安心して暮ら  
せるよう丁寧に対応していく  
活力支援

**質問** 行政の手伝いをしてく

## 合併の夢から覚めた 現実的施策の推進を

### 人材

無所属 鈴木晴久議員

**質問** 機能していない役職定  
年制を見直し、役職定年者を  
公民館長に活用する考えは。

**答弁** より効果的な運用に努  
めることを基本に検証しなが  
ら、今後の運用を検討したい。  
公民館への配置は、人材活用  
の案として検討する。

**質問** 常勤化している臨時・  
嘱託職員のうち、特に事務職  
員を総ざらいするべきであ  
る。今後の任用方針は。

**答弁** 一定の資格を必要とす  
るような分野を除き、基準で  
任用している。今後も、長期

れる方々の活動場所の確保が  
難しい。公有地利用の方針は。

**答弁** 活用が市の行政目的に  
沿うものか判断し、公有地の  
利用を決めていきたい。  
**質問** 遠州豊田パーキ  
ングエリア周辺地域  
に、高速バスターミナ  
ルを誘致してみてもいいか。

**答弁** 庁内で調整を行  
うとともに、関係する



青少年ホーム

事業者等と協議していきたい。  
**質問** 耐震問題により、青少  
年ホームは解体が予定されて  
いる。若者たちの貴重な居場  
所として、役割の継続が求め  
られるが、どう考えて  
いるか。

**答弁** 必要性はわかる。  
どんな形態がいいか、  
課題に応じた検討の必  
要があると考ええる。

任用に留意し活用したい。

福祉・教育・観光

**質問** 合併に伴う保育園と幼  
稚園の保育料値下げの影響額  
と、適正な保育料の検討は。

**答弁** 影響額は、17年度と18  
年度の決算額対比で保育園  
8,700万円、幼稚園2,  
850万円である。今年度、  
幼児教育を充実させる計画の  
策定を予定しており、その中  
で保育料も検討したい。

**質問** 公民館の配  
置は、類似施設の  
有効利用も考える



旧見付学校

**答弁** 早い時期に有料化  
できるような準備を進めた  
い。両館のソフト事業の  
充実と、市内他施設と連  
携を図り、市内周遊に買  
献できるよう検討する。

### 教育の諸課題 / 鎌田新駅と区画整理 手話通訳者の窓口配置

日本共産党 高梨俊弘 議員

#### 教育

**質問** 35人学級を、早期にすべての学年で実施すべきと考えるが見解は。

**答弁** 高い評価を得ており、制度は継続したい。今後さらに本制度の成果を継続的・実証的に検証するとともに、教育環境整備について、少人数学級以外の方法も研究し、総合的に考えていきたい。

**質問** 全国一斉学力テストの目的、実施状況、結果の扱い、個人情報保護は。

**答弁** 教育結果の把握、改善が目的で、23小学校の6年生1,536人と、10中学校の3年生1,452人が参加した。学習状況と指導の資料に活用し、各学校の結果は公表しない。個人情報漏れないよう指導・助言する。

**質問** 日本青年会議所作製DVD「誇り」の教育現場持ち込みは問題である。見解は。

**答弁** 特定の歴史認識を教育する結果につながる可能性が排除できないので、授業で使用

うことは適切でないと考えてる。

#### 鎌田新駅

**質問** 新駅設置の請願採択から20年経過した。新駅の設置と土地区画整理事業の見解、J・Rとの交渉内容と課題は。

### 高齢者にやさしい市政 産科の今日的課題と改善策、予防接種

日本共産党 稲垣あや子 議員

#### 高齢者

**質問** 高齢者の税負担は、耐えられる限度を超している。現状認識と減免などの考えは。

**答弁** 税制改正で税負担は大きくなっていると思うが、世代間負担のバランスや、所得格差のある高齢者間の税負担の公平を図ることも

やむを得ないと考える。高齢者のみを対象とする減免などの独自施策は、税の公平性の観点から困難と認識している。

**質問** 後期高齢者

医療制度の市の責務と課題は。また、資格証明書の発行はすべきでないと考えが見解は。

**答弁** 新駅の必要性、有効性の認識は変わっていない。鎌田第一土地区画整理組合の立ち上げが大きな鍵を握っており、早期の設立に向け支援していく。J・Rには、引き続き状況報告を兼ねた訪問をし、計画協議の深度化



手話通訳者

が図られるよう要請していきたい。

#### 手話通訳者

**質問** 常駐での手話通訳者の窓口配置の考えは。

**答弁** 現在の利用実態から、配置の予定はないが、来庁者に不便をかけさせない努力を重ねたい。

の生きがいづくりの場の提供や就労支援、多角的事業展開による市民ニーズへの対応等の支援をしたい。

#### 産科

**質問** 市立総合病院の産科の

### 就学前サービス振興計画提言書 公民館の有料化

日本共産党 根津康広 議員

#### 就学前サービス

**質問** 幼稚園と保育園の機能や、教育・保育内容を一体化した総合施設のための、基準は。

**答弁** 提言書では、幼稚園と保育園で培ってきた子育て支援や保育のスキルを融合することでの保育の質の向上、保護者にとって働きやすい、子育てしやすい環境を整えるこ

と、保護者の選択の幅を広げることの3つを目的としている。基準は、幼稚園設置基準と児童福祉施設最低基準に基づき、ゼロ歳から2歳で42人、3歳から5歳で180人の合計222人を上限としている。

**質問** 提言書の「園の再配置計画」では、地域から幼稚園や保育園がなくなる。人間関



シルバー人材センター

**質問** シルバー人材センターの充実を。

**答弁** 組織等の見直しや、増加する高齢者

**質問** 3歳児健診などで接種記録を確認し、未接種者に接種の勧奨をしたり、転入時にはチラシを配布し接種につなげている。



係も希薄になり、地域の教育力の低下につながると思うが、見解を。

**答弁** 新たに整備される園を中心に、新たなコミュニティを創造できると考える。地域の機運を高め、地域の教育力の再生・向上につなげたい。

**質問** 公立園の正規職員の雇用を拡大し、保育の充実を図るべきであるが考えは。

**答弁** 幼稚園教諭や保育士に求められる専門性は急激に高まっており、使命感・責任感ある正規職員の割合をふやしてい

### アレルギー疾患対策

公明党 山際 今子 議員

**質問** 本市におけるアレルギー疾患の現状は。

**答弁** 18年度の1歳6カ月及び3歳児健診で、アトピー性皮膚炎等の要経過観察、要治療、治療継続とされた乳幼児は3,047人中56人である。

**質問** 全教職員のアレルギーに対する理解を深めるため、研修会等の開催は。

**答弁** 各学校で養護教諭が中

くことは重要である。

公民館

**質問** まちづくりや人づくりに、大きな役割を果たしてきた公民館の有料化は問題である。有料化の根拠は。

**答弁** 現在、使用料を徴収している館としていない館がある不均一な状況である。利用者に自分の負担を求めることが望ましいと考える。減免措置についても、他の公共施設等の規定と調整しながら検討していく。



見付公民館

心となり、職員会議等で共通理解を図っている。

**質問** アレルギー疾患を持つ子供たちへの差別をなくすため、学校での健康教育は。

**答弁** 健康な生活と疾病予防について、知識理解だけでなく心情面も含め、道徳の時間など教育課程全体を通して指導を行い、互いに支え合い、共生する態度を育てている。

**質問** 給食などで食物アレルギーの症状があらわれた場合、学校の対応と研修は。

**答弁** 家庭と連絡を密にとり詳細を把握し、全職員共通理解のもと対応している。対応マニュアルに基づき発症時の対応や連絡体制の確認、近隣の事例などを研修している。

**質問** 保護者等が気軽に情報交換できる場として、アレルギー連絡協議会を設けるべきと考える。現状と今後の取り組みは。

**答弁** 連絡協議会にかわる会として学校保健委員会がある。食物アレルギー児を持つ母親の会である「学校給食食べさせ隊」とも連携をとり、懇談したいと考えている。

**質問** 総合的対策の推進を図るため、市立総合病院にアレルギー科の新設を。

**答弁** 現在、医師の確保そのものが非常に困難な状況にあるが、アレルギーを専門に診る医師がいれば雇用したいと考えている。

### 第3子以降の特別助成 B1グレードプリ/新教育長の施策展開

公明党 鈴木喜文 議員

助成

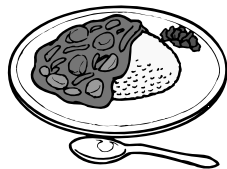
**質問** 人口増を目指す本市の第3子以降の子育てに対する具体的な支援策は。

**答弁** 総合的な支援策の充実にこれまで以上に努めていくので、第3子以降の具体的な支援は現状では考えていない。

B 1グレードプリ

**質問** B級ご当地グルメの祭典であるB1グレードプリの参加計画を具体化する考えは。

**答弁** 観光協会等の民間活力による事業展開を計画しており、地域の宝を磨く取り組みの一つとして積極的に支援したい。カレーをメインにして参加できないか模索している。



**質問** 地方教育におけるいじめ問題への取り組みは。

**答弁** いじめはまさに現場で起こっており、地方教育行政の責任は重大と考える。いじめられている子供や保護者の

**答弁** アレルギー対応調理室は実施設計に組み込んでおり、20年度の開設時は除去食での対応を考えているが、代替食も実施が可能か検討していく。

**質問** 教育委員会と子育て支援課の連携について、相談等市の窓口を一本化する考えは。

**答弁** 可能であれば20年度から窓口を一本化したい。

# 社会の安寧のため 磐田ですべきこと

無所属 宮澤博行 議員

**質問** 中学・高校まで集団生活を学び、卒業と同時に個が氾濫する社会へ放り出される。長期的視座から、学校卒業からその子女の入学までの期間をとらえる青少年教育、社会教育が重要と考える。見解を。

**答弁** 親が子供に果たすべき役割等の家庭教育に関する知識の普及など、青年層を対象とした青少年教育、社会教育は非常に重要と認識する。

**質問** 生涯学習振興計画における青少年育成・家庭教育の具体的方法は。

**答弁** 家庭教育力の向上を図るため、家庭教育講演会や講座を開催している。また、高校生以上を対象にボランティア養成講座を実施し、青少年育成に取り組んでいる。

**質問** 大人の所属する既存の組織への参加を促し、活動・実践を通して、少しずつ自然・地縁・信頼を取り戻すことが大切である。見解と具体的方法は。

**答弁** 社会教育においては、青年層の地域活動への参加が地域教育力の向上に対する一つの手だてと認識し、その推進に取り組んでいきたい。

**質問** 教師は膨大な事務に忙殺され、本来の教育に注ぐ力が残されていない。必要最低限の事務以外は見直さないと問題に対応できない。見解を。

**答弁** 教員に負担をかけることにならないか事務事業を常

## 循環型社会形成の推進 教育環境 / 安心のまちづくり

公明党 小野泰弘 議員

### 循環型社会

**質問** とじひもやコーティングなどが付着し一体となっている雑紙類(ミックスペーパー)の分別収集に対する考えは。

**答弁** 分別区分を新たに設けての回収は、今まで以上に市民の負担となるので、現在のところ考えていない。



食品トレー

**答弁** 障害者の社会参加という観点からも有効な方式と認識している。本市のトレー回収等は福祉

**質問** 回収した食品トレーを障害者福祉施設の利用者が再生原料に加工し、これをメーカーが買い取り再生するリサイクル活動「新庄方式」が注目されている。認識は。

に見直し、本来の業務に努めていけるような支援が重要と認識する。  
**質問** 自然の中で過ごす現代的価値観の負の部分が消え去り、人間が本来持つ価値観が芽生える。豊岡東小学校の小規模特認校制度はその点で有効である。今後の展望は。  
**答弁** 学校の活性化と本制度の充実に向け取り組みたい。



豊岡東小学校

## 市政運営 / 財源 市事業の発注方式

無所属 鈴木昭一 議員

### 市政運営

**質問** 議会との関係をどのように構築していくのか。

**答弁** 当局と議会は、ともに目標は同じである。今後も議会の意思を重く受けとめ、十分な協議を重ね、理解を得られるよう努めたい。

**質問** 職員定数削減による影響への対処方法は。

### 安心のまち

**質問** リバースモーゲージと呼ばれる、要保護世帯向け長期生活支援資金貸付制度への市の対応は。

**答弁** 対象世帯に制度を説明し同意を得よう努め、実施主体の県社会福祉協議会と連携し、速やかに実施したい。

**質問** 地域包括支援センターでの包括的支援事業の対応は。

**答弁** 徐々に本格的に取り組める状況になってきた。20年度には3カ所の増設を予定しており、よりきめ細かな事業が展開できると考えている。



財源

**質問** 業務の見直し、民間活力の活用、職員育成によるマンパワーの強化等による少数精鋭主義で対応したい。

**答弁** 合併推進のための国の最重要施策であり、交付税への算入の取りやめなどはないと考える。ただし、市税等の

歳入の著しい増加等で交付税の不交付団体となった場合は、結果として受け取れなくなる。

**質問** 新たな財源確保策が必要と思うが、どう考えるか。

**答弁** 市の発展の礎となる安定した産業基盤を構築するため、企業の育成・誘致策を積極的に展開するとともに、産

業を支える都市基盤の整備を総合的に推進している。

発注方式

**質問** 公共事業における発注方式の整備状況は。

**答弁** これまで指名競争入札で実施していた3千万円未満の工事案件を、19年度から1千万円以上を一般競争入札へ、1千万円未満を工事参加

希望型指名競争入札へ変更した。また、今年度後半から、電子入札や総合評価方式の入札も導入を予定している。

**質問** 産業振興の上から重要な市内業者の育成は。

**答弁** 分割発注や金額区分を設けた発注を心がけたり、施工管理や技術力向上のための講習会等も実施している。

化に努めていく。

水害情報

**質問** 豪雨のときに、地域の防災担当者に、水位情報等をメール配信できないか。



水害メール

**答弁** メール配信・音声ガイダンスシステムは、7月からの運用に向け準備している。

配信対象者は希望する市民と関係職員であるが、浸水常襲地域の自治会役員、防災会役員に働きかけている。

**質問** 避難勧告の一段階前で、住民が事前行動のできる参考情報を、テレビのテロップで流すことはできないか。

**答弁** 現在報道各社に行っている情報提供に、避難準備情報を今後追加していく。

### 自主運行バスの代替方策 補助金・交付金等の見直し

無所属 岡 實 議員

自主運行バス

**質問** 竜洋地区への代替運行の試行実施の予定は。

**答弁** 代替運行は、乗合タクシー、融通性を取り入れた予約制のデマンド型乗合タクシーを検討している。運行方法等は関係者の意見を参考に、できるだけ早い時期に実現できるように取り組みたい。

**質問** 現在運行している経路の延長など、見直しの考えは。

**答弁** 磐田温水プール磐田市立病院線、通称「もくせい号」を竜洋地区まで乗り入れた場合、時間の問題や民間バス路線との競合など、幾つかの課題がある。竜洋地区は自主運行バスの空白区域であることは認識しており、運行方法について、早期に検討したい。



もくせい号

重点項目の一つで、原則的に、全補助金・交付金を対象としている。見直し必要がある補助金等は、20年度予算への反映を基本とするが、補助団体等の事業推進に著しく影響し、調整が整わない等の場合も想定されるため、一定の経過措置期間を設けるなど、柔軟な配慮も必要と考える。

**質問** 見直しの具体的なスケジュールは。

**答弁** 7月に実施する20年度予算の概算要求にあわせ、見直し基準を示す。見直しの結果を10月の予算要求に加え、新年度の予算に反映していきたい。また、補助金交付申請や完了報告書の手続の見直しも同時に進め、事務効率化の観点から簡素化を図りたい。

**質問** 合併近な商工会や関係団体への配慮は。

**答弁** 対象となる団体が置かれた状況を配慮し、柔軟に対応していきたい。

### 南部の民間病院 ふくで荘／水害情報の提供

無所属 寺田 仁一 議員

民間病院

**質問** 市南部鮫島地区への徳洲会病院進出への市の対応は。

**答弁** 徳洲会には、具体的な計画書の提出を依頼している。提出された計画が市の条件と合致するかどうか、また、その計画の実現性について、確認する必要があると考える。

**質問** 徳洲会以外の病院を南部に誘致する考えはあるか。

**答弁** 進出に対する補助等の市の条件が出たら、その条件で進出する意向があるか、他の医療法人への働きかけについても考えたい。



ふくで荘

**質問** ふくで荘は、18年9月から休業となっている。早急に地域拠点づくりの創出を願うが、今後の計画は。また、市長のトップセールス等による、民間施設誘致の考えは。

**答弁** 民間活力の導入や財政的負担を考慮した上で、旧ふくで荘跡地への民間企業の誘致を主体に、施設の設置に向け、適切な時期には、トップセールスにも努めたい。福田

漁港整備とともに周辺インフラ整備を進め、地域全体の活性化

## 審議結果一覧表

### 全会一致により可決・同意された議案

- (1) 19年度一般会計補正予算（第1号）
- (2) 〃 老人保健特別会計補正予算（第1号）
- (3) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (4) 豊岡地域福祉センター条例の制定
- (5) 歴史文書館条例の制定
- (6) 栄町自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定
- (7) 駐車場条例の一部を改正する条例の制定
- (8) 新造形創造館条例の一部を改正する条例の制定
- (9) 体育施設に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (10) アミューズ豊田条例の一部を改正する条例の制定
- (11) 福田健康福祉会館条例の一部を改正する条例の制定
- (12) 豊田福祉センター条例の一部を改正する条例の制定
- (13) 竜洋老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定
- (14) 竜洋長寿の家条例の一部を改正する条例の制定
- (15) 老人ホーム楽寿荘条例の一部を改正する条例の制定
- (16) 子育て支援総合センター条例の一部を改正する条例の制定
- (17) 勤労者総合福祉センター条例の一部を改正する条例の制定
- (18) 勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定
- (19) 繊維工業振興センター条例の一部を改正する条例の制定
- (20) 福田農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定
- (21) 豊岡地場産品ふれあい施設条例の一部を改正する条例の制定
- (22) 磐田市営豊田循環バス条例の一部を改正する条例の制定
- (23) 磐田市営豊岡循環バス条例の一部を改正する条例の制定
- (24) 都市公園条例の一部を改正する条例の制定
- (25) 竜洋昆虫自然観察公園条例の一部を改正する条例の制定
- (26) 竜洋海洋公園オートキャンプ場条例の一部を改正する条例の制定

- (27) 竜洋海洋公園レストハウス条例の一部を改正する条例の制定
- (28) 竜洋海洋公園テニスコート場条例の一部を改正する条例の制定
- (29) 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定
- (30) 磐田市特定環境保全公共下水道（豊岡処理区）根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結
- (31) 平成19年度福田小学校屋内運動場耐震補強工事（建築）請負契約の締結
- (32) 市道の路線認定
- (33) 市道の路線変更
- (34) 市道の路線廃止
- (35) 人権擁護委員の候補者推薦の意見
- (36) 下水道整備の促進に関する意見書

### 不採択となった請願

- (1) 小学校6年生までの医療費無料化を求める請願  
※ この請願は討論が行われ、表決結果は不採択に賛成30（公・無）、反対3（共）でした。

### そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 農業委員会委員の推薦
- (2) 閉会中の継続調査
- (3) 市議会議員の派遣

### 本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

※ なお、香りの博物館条例の一部を改正する条例の制定は、上程後撤回されました。

## 9月定例会の予定

9月4日～10月5日（32日間）

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話0538 37 4822）までお問い合わせください。

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 9月4日  | 本会議（議案の上程等）          |
| 5日    | 本会議（議案の上程等）<br>常任委員会 |
| 6日    | 常任委員会（審査予備日）         |
| 11日   | 本会議（先議議案の採決等）        |
| 12日   | 本会議（一般質問）            |
| 13日   | 本会議（一般質問）            |
| 14日   | 本会議（一般質問）            |
| 18日   | 本会議（一般質問予備日）         |
| 19日   | 本会議（議案に対する質疑）        |
| 20日   | 本会議（議案に対する質疑等）       |
| 21日   | 特別委員会                |
| 25日   | 特別委員会                |
| 26日   | 特別委員会（審査予備日）         |
| 27日   | 常任委員会                |
| 28日   | 常任委員会                |
| 10月1日 | 常任委員会（審査予備日）         |
| 5日    | 本会議（議案の採決等）          |
- いずれも午前10時から

## 特別委員会活動報告

市議会では、3つの特別委員会を設置し活動しています。

### ○行財政改革特別委員会

- (1) 6月14日
  - ・行革進行管理委員会の傍聴
  - ・本年度の活動内容についての意見交換
- (2) 7月17日
  - ・18年度までの行革の取り組み成果の検証

### ○医療問題特別委員会

- (1) 6月4日
  - ・本年度の活動内容についての意見交換
- (2) 6月19日
  - ・民間医療法人について市長との意見交換
- (3) 7月3日
  - ・民間医療法人について市長・副市長との意見交換

### ○次世代育成・多文化共生特別委員会

- (1) 6月4日
  - ・「提言書」磐田市就学前サービス振興計画の概要説明等
  - ・磐田市多文化共生推進プランの概要説明等
- (2) 7月9日
  - ・健康福祉部関連の子育て支援策の概要説明等